

校長室だより

日本福祉大学附属高校 2016年12月1日

万人の福祉のために
真実と慈愛と献身を



付属推薦入試の合格発表がありました

11月18日、福祉大学付属推薦入試の合格者が発表されました。合格者は来年度開設のスポーツ科学部を含む7学部、計60名でした。授業後、職員室前の掲示板に合格者の番号が張り出されました。自分の名前を見つけて、歓声を上げたりやお互いに握手し合う姿が見られました。合格おめでとう。

快拳！門脇さん私学弁論大会優勝



11月10日、第64回私学弁論大会に出場した門脇未羽さん（3年）は「知った責任」と題して弁論、見事優勝に輝きました。門脇さんは、今年夏、和太鼓部の一員として福島県を訪問。仮設住宅の脇で演奏をしましたが、地域の世話役の方から「被災した人たちは本当に苦しみながら十分に頑張ってきました。これ以上頑張れって言わないでください」という言葉に「わかったつもりになっていただけの自分の愚かさになだれ」、「人の想いを丁寧に深く受け止めることの大切さに気づいた」（弁論より）、そして自分がこれから果たすべき役割を

学んだという論旨でした。私学弁論大会は毎年各校から十分な練習を積んだ弁士が勢ぞろいし、素晴らしい弁論を披露してくれますが、その中で優勝は本当に素晴らしいことです。おめでとう。

愛知県国際交流推進功労者の表彰を受けました

11月4日、本校は愛知県国際交流協会から「多年にわたり世界に開かれた地域づくりを目指す当地域において、国際交流・国際協力の推進に大いに尽力した」ことが評価され、表彰を受けました。具体的な内容は、①本校和太鼓部が10年以上にわたり、イギリスやアメリカ、中国、台湾、韓国などで海外公演を行い、美浜町の偉人「音吉」をテーマにした和太鼓組曲「海嶺」など伝統文化を伝えたこと②イギリスやオーストラリアへの語学研修のとりくみ③台湾の高校と共同し、World Youth Meetingでの英語の発表④部活動の国際協力部が発展途上国の子どもたちに文房具や絵本を贈るなどの国際支援活動を継続的に実施したことなどです。表彰式には私（岩本）が、会長の神田真秋様から表彰状と記念品を受け取りました。早速、後押しをいただいた美浜町を表敬訪問し、神谷美浜町長に報告し、お礼を述べました。今後もさらに活動の範囲を広げ、とりくんでいきたいと思っております。



和太鼓部県大会優秀賞獲得、来夏の全国大会有力に



11月23日、知立市文化会館において総合文化祭郷土芸能部門の県大会が開催されました。来年夏の全国大会（宮城県）の予選ともなるものです。

優秀校3校の中から上2校が推薦されますが、出場校16校中、和太鼓部は優秀校に選ばれました。審査員からは「演奏を通じてまるで映像を見ているようだった。豊かな構成力、笛もうまい、絞め太鼓の人の表情も良い、オーケストラを聴いているような印象を受けた」という評価をいただきました。健闘をたた

えます。尚、全国大会出場は12月上旬に決定します。

介護職員初任者研修修了試験全員合格、3日に修了式

6月から始まった介護職員初任者研修は、38名の生徒諸君が受講し、土曜日や夏休みを充てて講義や実習に汗を流してきましたが、11月12日に試験があり見事全員が合格しました。おめでとう。（裏面に贈る言葉）

「だれかのために」を胸に刻んで

～介護職員初任者研修を修了した皆さんへ～

校長 岩本憲之

今年も38名の生徒諸君が、介護職員初任者研修を修了することができました。6月の開講式から土曜日や暑い夏休みの最中にも、講義や実習に頑張ったことを大いに讃えたいと思います。きっと皆さんはこの研修を通じて、介護の技術はもちろんのこと、人間として大事な多くのことを学んだことと思います。

皆さんの「お年寄りの役に立ちたい」というやさしい思いは、本学園を創立された鈴木修学先生が、こんな人を育てたいと願われた人物像に重なります。修学先生はハンセン病の患者さんや、戦争で親を亡くし孤児となった子どもたちなど、社会的に弱い立場にある人たちを救済しようと、生涯をかけて尽力され、その顕著な業績により「日本の福祉を築いたお坊さん」として広く知られている方です。また「人類のために自己を捧げることを惜しまない志の人を育て、社会に送り出したい」（建学の精神より）と日本福祉大学や付属高校を創立されました。私たちの学園では高校・大学共通の教育標語「万人の福祉のために真実と慈愛と献身を」を掲げていますが、同時に、高校では「だれかのために」を合言葉に日々とりくんでいることは、生徒諸君周知の通りです。私は生徒諸君が、それらを身をもって具現化させようと努力する姿に、大きな喜びを感じないではられません。

介護職員初任者研修を修了された皆さんは、今後専門的な知識や技術を生かし、高齢者の方を始め、介護が必要な方々の役に立てることを期待しています。またすぐにはそういう機会に接しない人もいるかもしれませんが、無駄であったと決して考えないでください。冒頭で触れたように、皆さんはこの研修を通じて大事な多くのことを学んだことと思います。例えばそれは「他人を思う心」ではないでしょうか。

皆さんは高齢者だけでなく、皆さんがこれからの人生で出会うすべての人々と、どのように接したらよいかの大きなヒントを学んだことと思います。「相手の気持ちになって考える力」「他人の痛みや悲しみに共感できる力」など、それらはこれからの人生でとても大事な力と言えます。過去に研修を終えた多くの人が異口同音に言うことは、「最初は『世話をしてあげる』という考えだったが、研修を修了した今は、『多くの大切なことを学ばせていただきありがとうございます』という気持ちです」ということです。きっと皆さんもその一人に違いないと確信します。

最後になりましたが、無事修了にこぎつけたのは、市野先生はじめベタニアホームの諸先生方の熱心なご指導の賜物と感謝申し上げます。ありがとうございました。